

## 放っておく手はない、 思いっきり図書館を利用しよう！

岡山理科大学 副学長／金 枝 敏 明



入学おめでとうございます。図書館は、大学新1年生にとり、最も大学生になった気分になれる所ではないでしょうか？これから4年間何らかの形で図書館にお世話になるかと思います。それではどんな時に図書館をよく利用するのか、と言いますとやはりレポート作成、卒業研究の資料調べということになるかと思います。大学の図書館は高校のそれとは比べものにならないくらい沢山の本があり、中には学術分野で最先端の高価な書籍が転がっております。また視聴覚教育材料であるDVDやビデオも収蔵されており、単に収蔵品は書籍だけではありません。

本学ではこのような立派な書籍を多数蔵書しておりますので、それらは学生や教職員のみに対象としているのでは、勿体ないということで一般の方にも解放し、貸し出しを行っております。また日曜日も開館しております。

米国の大学では、多くの学生は図書館で夜遅くまで勉強します、開館も深夜までや夜通しもあるようです。米国映画で大学を舞台とするものには必ずと言っていいほど、図書館の内部がスクリーンに映し出されます。米国の大学生にとり、生活に占める図書館の役割が大きいのがこのようなことから推察できます。日本ではこのような図書館で勉強する慣習は、閉館時間の関係で余りないようですが、本学では可能です。上記のように日曜日開館や閉館時間を21時近くまでとしております。従って本学学生にとって、このような貴重な財産を放っておく手はない、ということになります。

また疲れた時には、キャンパスに出て、コンビニでジュースや自販機でお茶を飲んで一服することも可能です。

今まで私の研究室から育って行った学生は、300人以上を数えると思いますが、彼らを見てみると、図書館を有効に利用している学生はそれに比例するがごとく成績がよく、充実した学生生活を送りました。

新しい専門の知識を得ることが出来るのは、講義での場合が多いのは当たり前ですが、自分自身で発見した場合、好奇心が満たされ、気分良く容易に頭に入るような気がするのは私だけではないと思います。大学に入学したからには、思いっきり図書館を利用して、知識を深め、素晴らしい発見をしましょう。

